



安心の地域医療を支える

# JCHO NEWS

Japan Community Healthcare Organization NEWS





02 湯河原病院  
タイ国 社会開発  
人間安全保障省来訪

03 メッセージ  
Shu'sRoom

04 事務職員採用内定式・  
新入職員研修

05 活躍できる薬剤師の  
養成を目指して

06 九州病院の取組み

07 中京病院の取組み

08 大和郡山病院の  
広報活動

09 JCHO本部  
広報勉強会

10 トピックス  
病院機能評価  
天草中央総合病院

11 トピックス  
JCHOで育成する  
総合診療医

12 JCHO GROUP  
JCHO  
全国ネットワーク

表紙 JCHO大阪病院小児病棟  
クリスマス

2023.09.28

JCHO湯河原病院

タイ国

# 社会開発人間安全保障省 来訪

JCHO湯河原病院 事務長 井澤 裕匡

令和5年9月28日(木)にタイ国の社会開発人間安全保障省・国際部長・同省・ASEAN課長他の3名が湯河原町に来訪されました。

湯河原町は2019年にタイ国ブントー市と高齢者福祉や観光の分野で相互に協力するため覚書を締結しており、その際にも当ブントー市の幹部が当院(旧病院)のリハビリ部門などを視察され、現在ではタイにおける26の自治体と湯河原町で相互協力の協定が締結されています。

今回、ASEAN社会開発高官会合(SOMSWD)では、ASEAN社会福祉研修センター(ATCSW)をタイに設立し、ASEAN全域のソーシャルワークの能力向上・標準化を進めており、今後の参考に厚生労働省やJICAの他、横浜社会福祉協議会など日本の関係各所の視察等の一環で湯河原町にも来訪され、当院から院長をはじめ6名の職員が意見交換会に参加しました。

意見交換会では当院からは院長より英語にて挨拶し、松坂地域医療連携室長から当院における地域医療連携について具体的事例を交えながら紹介させていただき、その後、活発な質疑が続きました。

タイのサシム国際部長からは、タイにおける急速な高齢化への対応について、日本の経験を参考にしながら制度・システムを策定していきたいとのことで、今後においても湯河原町に対して人材育成などの協力の希望が伝えられました。



## メッセージ

### JCHO病院をおすすめできますか？

医療・看護・介護・地域包括ケア・研修担当理事

田中  
桜

病院機能評価受審の旗振り役として、これまで5病院の機能評価受審に同行しました。当日だけでもかなり体力・精神力を消耗することから、準備期間を経て万全の体制で臨まれる皆様方の病院機能評価にける想いは、毎回ヒシヒシと実感しております。

本部では病院機能評価の受審を促進しており、皆様のご負担を軽減すべく様々な取組を行っております。

期間限定：この機会にぜひ！

メルマガ・動画

「桜の部屋」

病院機能評価関連掲示板  
(JCHO本部ポータルサイト)

受審費用や評価機構の受審サポート利用時に係る費用等の助成も行っています！

サーベイヤ(診療・看護・事務の3パターン)に応募しよう！

「5年に一度の受審は当然のこと。他の病院がどのような取組をしているのかをみて、自分の病院の取組の参考にしてみたい」という方、JCHO病院の医療の質の底上げに協力してください！

先日、新入職員研修にて「変化を成長のチャンスと捉えて」とお伝えしました。中からは日常風景として気付かないことも、外からの指摘で改めて認識させられることがあり、まさにこれが病院機能評価を受審する意義でもあります。第三者の指摘をきっかけに、病院改革に取り組んでいたきたいと思います。

私はこれまでどの立場においても、医師免許を持つ者として「患者さんや社会のために何ができるか」を軸に業務を推進するよう努めてまいりました。JCHO病院が、「自分が患者だったら受診したい、大切な人にも胸を張って紹介したい」医療機関として輝き続けられるよう、お手伝いさせていただければ幸いです。



JCHO九州病院の機能評価受審で北九州市訪問時に小倉駅前でのメーテルと。

## Shu's Room

現場での対談会を始めました。これから1年以上かけて、全病院職員のみなさんと対話していきます。ぜひ、ご意見をお聞かせください！



北海道病院



札幌北辰病院



横浜中央病院



## 事務職員採用内定式

令和5年10月2日に事務総合職(令和6年4月1日入職予定)の内定式が行われ、今年度に内定した119名がJCHO本部研修棟に集まりました。コロナウイルス感染症対策のため、ここ数年、集合形式での開催がかなわず、全国の内定者が一堂に会したのは、令和元年度の開催以来、実に4年振りのことでした。

理事長訓示、内定通知書交付、内定者の決意表明の後、内定者同士の親睦を深めるレクリエーションや懇親会が行われ、内定者は和気あいあいとした雰囲気の中で入職への意識を高めました。



## 事務総合職 新入職員研修

新規採用事務職員が、社会人としてのマナー、職務に関連する基礎的な知識を得ると共に、職員間の交流を深めること等を目的とした研修を令和5年10月25日から10月27日の3日間、JCHO研修センター及び本部研修棟にて開催しました。

受講者から毎年好評の徳岡理事長特任補佐が講師を務めるグループディスカッションや外部講師の研修に加え、先輩職員との意見交換会等も開催され、参加者は、同期職員との交流を深めました。



## 未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ 活躍できる薬剤師の養成を目指して

JCHO東京新宿メディカルセンター薬剤部長  
本部医療課薬事専門職兼任

片山 歳也

現在、人口構造の変化、多疾患併存、多死社会、健康格差、増大する医療費、新興・再興感染症や災害リスクなど様々な問題に直面しています。令和4年度は、医療人として共通の価値観を共有すべく、医学・歯学・薬学で同時に教育モデルコアカリキュラムが改訂され、未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる薬剤師(医療人)の養成が必要とされています。

第8次医療計画では病院薬剤師の確保が挙げられており、日本病院団体協議会(山本理事長が議長を務める)および日本病院薬剤師会は病院薬剤師確保について、「診療報酬上の要望(病棟薬剤業務や外来業務の評価等)」、「地域医療介護総合確保基金等の優先的な活用」、「薬学部の卒前及び卒後教育の充実」の3項目の要望について、今夏に厚生労働大臣宛てに提出されたところであります。

これらの課題に対応すべく、JCHO薬剤師のやりがい、卒後教育、職場環境改善等について、薬事専門職会議では各地区の問題点や工夫点に関する共有を図っております。さらに薬剤部長会議でも協議を行い、自施設の薬剤師育成の在り方を再考してもらっています。就職説明会では各薬事専門職および各薬剤部長が、各地区事務所の協力・支援を頂きJCHO薬剤師のアピールを精力的に行っていますが、近年、全国で約40人程度の欠員が続いております。さらなる取り組みを通じて、薬剤師の欠員を軽減しJCHOの発展に貢献していきたいと思っております。



## 求める人材像

「安心の地域医療を支えるJCHO」のキャッチフレーズの下、高齢社会に対応すべく地域包括ケアの推進というミッションに共鳴していただける方に、是非来ていただきたいと思っております。また、チーム医療の要として、患者さんのことを第一に考えながら、他の医療スタッフと協働できる薬剤師を求めています。





## 当院の省エネルギー取組

### 給湯システムの最適化による節約と成果

JCHO九州病院 総務企画課 施設管理係 **三村 大介**  
主任技能職員 (エネルギー管理士)

九州病院は、施設管理を担当する常勤職員4名を中心に、今年で20年経過した約70,000㎡の建物の維持管理、工事施工などの業務を24時間体制で行っています。また、設備設計に精通した職員が在籍しており、施設基準に対応した病院改修時の基礎設計も行っています。

当施設は省エネルギー法に基づき、第1種エネルギー管理指定工場として、エネルギーの使用の合理化及び「エネルギー使用量前年度比1%削減」が義務付けられた建物です。現在も削減目標に向けて日々努力しており、経費削減と地球環境の保全を行うため、今年度、特に給湯使用量の削減に焦点を当てました。

#### 具体的な取組みとして、 給湯循環量の削減を目指し、以下の方法を実践しました。

- 1 給湯循環温度の調整(4月)** 給湯循環量を削減するために、給湯循環温度を60℃から65℃に変更しました。ただし、1度の温度上昇には多くのエネルギーが必要であり、削減量とのバランスが求められました。
- 2 給湯使用量の調査(4月)** 給湯使用量が多い部署を特定するため、栄養部での調理や洗浄の使用量を調査しました。
- 3 給湯循環量の削減(5月)** 栄養部の協力を得て、給湯バルブの調節を行い、給湯循環量を減少させました。結果として、給湯循環量が1か月平均で1/3に減少し、上下水道料金が約40万円/月減少し、蒸気使用量の減少により年間予想で約480万円の経費削減を見込んでいます。

今年度の夏期は外気温が高く、冷房によるエネルギー使用量が増加しました。そのため、来年度も引き続き省エネを検討し、我々が病院の安全・安心を守るという帰属意識をしっかりと持ちながら、更なる経費削減と病院経営の健全化に貢献していく所存です。



施設管理係



栄養部給湯



バルブ調整

JCHO中京病院 事務部長 木下 敦士

## topics.01

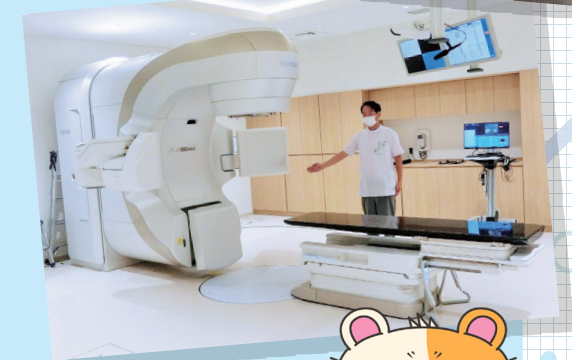
### 放射線治療棟がオープン!

中京病院は名古屋市南部の地域の核となる基幹病院であり、救急医療、熱傷や小児循環器疾患の診療、腎移植など幅広い分野に力をいれ、がん診療拠点病院としての役割も担っています。

がん診療を含めた急性期医療のさらなる充実を図るため、救急外来・救命救急センター・手術室・ICU等を配置した新館の建築工事を進めております(2025年12月竣工予定)。この度、新館に先駆けて放射線治療棟が完成し、2023年11月6日より稼働しました。

これにより、患者さんや従事者の動線効率が従来より非常に高くなり、様々な負担軽減にもつながっております。

地域により良い医療を提供するため、中京病院全体で強い目的意識をもって取り組んでいます。



チューちゃん  
ハムスターの  
チューちゃんの特技は注射



## topics.02

### 世界骨粗鬆症デー(WOD)イベント開催!

中京病院OLS(osteoporosis liaison service)チームが、10月20日の世界骨粗鬆症デーにちなんで「あなたの骨は密ですか?」をテーマに、近隣の商業施設(イオンモール新瑞店)でイベントを開催しました。

超音波による骨密度測定と、ロコモチェック(サルコペニアの目安となる握力測定)を行い、測定結果について医師が個別に説明したり、薬剤師・管理栄養士による骨折予防のアドバイスを行ったり、とても大盛況で600名以上の集客があり、「中京病院は診療以外にこのような催し物もされるのですね!」と声を寄せられました。

今後は南区だけではなく、熱田区にも足を延ばし、地域住民の健康増進のために地域貢献に取り組んでいきます。



キョーちゃん  
九官鳥の  
キョーちゃんの特技は救急対応





# JCHO 大和郡山病院の広報活動

## 「共感」、そして「思い」をひとつに

## 広報誌「いちよっつ」

JCHO大和郡山病院  
広報委員会委員長  
診療放射線技師長 中尾 哲

大和郡山病院の広報委員会では今、「伝える」ことを大きな目的として活動しており、その委員会活動のひとつ、職員向け院内広報誌「いちよっつ」をご紹介します。

院内広報誌「いちよっつ」は、「新しいことに取り組んでみよう」そんな思いのある有志のメンバーでスタートしました。

創刊からおよそ2年、今は正式に広報委員会の業務のひとつとして、年6回、定期的に発行しています。

委員会メンバーは多職種で構成され、当院で働くさまざまな職種や人が「今どんなことに取り組んでいるのか」、「今どんなことを考えているのか」など、部署の垣根を越え、相互理解を深めることを目指しています。それぞれ忙しい業務の中記事の取材や写真撮影など、笑顔と積極的な活動で盛り上げてくれています。手作り感が満載の広報誌ですが、委員会メンバー全員が愛情を込めて創作し、職員のみなさんにお届けしています。

これからも、大和郡山病院の「みんなが知らない部分」をどんどん掘り起こし、未来につながるような新しく明るい話題、楽しい出来事などを紹介して行きます。

ちなみに、「いちよっつ」は、当院の代表番号の下4桁から命名しました。



広報委員会のメンバー



## 本部 広報勉強会を開催

理事長特任補佐 徳岡 晃一郎



昨年続き、本年度もJCHO本部においてWeb広報勉強会を行い、病院及び地区事務所から205人の参加がありました。

有識者による講義の中で、効果的なPR方法のレクチャーを受け、みなさんも新鮮な刺激を受けたことと思います。正に目から鱗が落ちた気分ではないでしょうか。

第2回広報勉強会は、2024年1月の開催を予定しております。みなさんの参加をお待ちしています。





JCHO天草中央総合病院



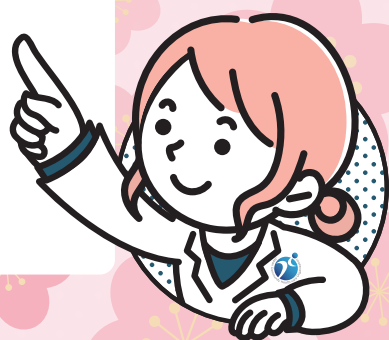
JCHO天草中央総合病院 消化器内科診療部長 岩澤 秀

当院は、病院機能評価を令和5年7月に受審し、5回目の更新受審となりました。事前の準備や院内ラウンドも行ったのですがはじめて2つのC評価を頂きました。早急に改善に取り組み、現在再審査の結果を待っているところです。病院機能評価については、形式的とか、重箱の隅をつつくとかという批判もあります。私は長年当院の病院機能評価の更新に関わってきましたが、現状では以前に比べてそのような対応はかなり減っていると感じています。

さて、組織は時代とともに変わります。管理者・中間管理職を含めた医療スタッフも変わります。構成メンバーが変わると、組織風土も変わります。以前できていたことができなくなったり、守られていたことが守られなくなったりします。何を規範にしているのかわからなくなったり、迷いが生じます。そのような時、振り返って規範とするものが病院機能評価と考えます。具体的には、「病院機能評価項目解説集」に記載されています。受審が決まると、この解説集に基づき、きちんとできているかチェックし、課題を探り改善していきます。これを病院全体で行います。受審までに改善し、評価をしてもらい、評価結果を基にさらに改善に取り組むという流れです。

現在、JCHOでは、病院機能評価受審の促進中とのこと。受審準備は大変ですが、やりきった達成感や職員の一部感などが醸成され、気が付かないことを指摘され改善のきっかけになります。病院をよくしたいという病院様は前向きに検討されてはいかがでしょうか。

病院機能評価は、業務改善を通して  
病院の経営や職員のモチベーションを根底から支えるための、  
そして何より、  
良質な医療を患者さんに提供するための重要ツールです。  
JCHOの全病院が病院機能評価を受審することが  
戦略目標となりました。



JCHOで  
育成する  
総合診療医



総合診療医育成ワーキンググループ JCHO東京新宿メディカルセンター 内科部長 清水 秀文

JCHO内には基幹病院として日本専門医機構の総合診療専門研修プログラムを有している病院は8ヶ所あり、他のプログラムの連携施設となっている病院も多数あります。この枠組みにとらわれずに地域医療を支える総合診療医を育てようと奮闘されている施設も多いことかと思えます。総合診療を担っていく医師の確保は大きな問題ですが、それと共に指導医の質の向上も課題の一つです。2023年10月3日にハイブリット形式で開催した「JCHO総合診療医指導医フォーラム」はその課題解決を目的とした活動の一つになります。JCHO若狭高浜病院の海透優太先生が中心となって企画し、奥智久先生(おく内科在宅クリニック)には「総合診療という名の最強ツールを身につけよう」というテーマで、野木真将先生(亀田総合病院総合内科・ハワイ州クイーンズメディカルセンターホスピタリスト)からはフィードバックと評価について講義していただきました。改めて総合診療及び後進の指導について学ぶ機会となったとともに、JCHO内の指導医同士のネットワークを作り上げていく時間にもなりました。今後もこうした企画を継続していき、総合診療医の育成環境改善を目指していきたいと考えています。





北海道東北地区

北海道	北海道病院	062-8618	北海道札幌市豊平区中の島1条8-3-18	Tel.0111-831-5151
	札幌北辰病院	004-8618	北海道札幌市厚別区厚別中央2条6-2-1	Tel.0111-893-3000
	登別病院	059-0598	北海道登別市登別東町3-10-22	Tel.0143-80-1115
宮城	仙台病院	981-3281	宮城県仙台市泉区紫山2-1-1	Tel.022-378-9111
	仙台南病院	981-1103	宮城県仙台市太白区中田町字前沖143	Tel.022-306-1711
秋田	秋田病院	016-0851	秋田県能代市緑町5-22	Tel.0185-52-3271
福島	二本松病院	964-8501	福島県二本松市成田町1-553	Tel.0243-23-1231

関東地区

栃木	うつのみや病院	321-0143	栃木県宇都宮市南高砂町11-17	Tel.028-653-1001
群馬	群馬中央病院	371-0025	群馬県前橋市紅雲町1-7-13	Tel.027-221-8165
埼玉	さいたま北部医療センター	331-8625	埼玉県さいたま市北区宮原町1-851	Tel.048-663-1671
	埼玉メディカルセンター	330-0074	埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3	Tel.048-832-4951
千葉	千葉病院	260-8710	千葉県千葉市中央区仁戸名町682	Tel.043-261-2211
	船橋中央病院	273-8556	千葉県船橋市海神6-13-10	Tel.047-433-2111
東京	東京高輪病院	108-8606	東京都港区高輪3-10-11	Tel.03-3443-9191
	東京新宿メディカルセンター	162-8543	東京都新宿区津久戸町5-1	Tel.03-3269-8111
	東京山手メディカルセンター	169-0073	東京都新宿区百人町3-22-1	Tel.03-3364-0251
	東京城東病院	136-0071	東京都江東区亀戸9-13-1	Tel.03-3685-1431
	東京蒲田医療センター	144-0035	東京都大田区南蒲田2-19-2	Tel.03-3738-8221
神奈川	横浜中央病院	231-8553	神奈川県横浜市中区山下町268	Tel.045-641-1921
	横浜保土ヶ谷中央病院	240-8585	神奈川県横浜市保土ヶ谷区釜台町43-1	Tel.045-331-1251
	相模野病院	252-0206	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30	Tel.042-752-2025
	湯河原病院	259-0396	神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-21-6	Tel.0465-63-2211
山梨	山梨病院	400-0025	山梨県甲府市朝日3-11-16	Tel.055-252-8831

東海北陸地区

富山	高岡ふしき病院	933-0115	富山県高岡市伏木古府元町8-5	Tel.0766-44-1181
石川	金沢病院	920-8610	石川県金沢市沖町ハ15	Tel.076-252-2200
福井	福井勝山総合病院	911-8558	福井県勝山市長山町2-6-21	Tel.0779-88-0350
	若狭大浜病院	919-2293	福井県大飯郡高浜町宮崎87-14-2	Tel.0770-72-0880
岐阜	可児とうのう病院	509-0206	岐阜県可児市土田1221番地5	Tel.0574-25-3113
静岡	桜ヶ丘病院	424-8601	静岡県静岡市清水区桜が丘町13-23	Tel.054-353-5311
	三島総合病院	411-0801	静岡県三島市谷田字藤久保2276	Tel.055-975-3031
愛知	中京病院	457-8510	愛知県名古屋市中区三栄1-1-10	Tel.052-691-7151
三重	四日市羽津医療センター	510-0016	三重県四日市市羽津山町10-8	Tel.059-331-2000

近畿四国地区

滋賀	滋賀病院	520-0846	滋賀県大津市富士見台16-1	Tel.077-537-3101
京都	京都鞍馬口医療センター	603-8151	京都府京都市北区北山下総町27	Tel.075-441-6101
大阪	大阪病院	553-0003	大阪府大阪市福島区福島4-2-78	Tel.06-6441-5451
	大阪みなと中央病院	552-0003	大阪府大阪市港区磯路1-7-1	Tel.06-6572-5721
	星ヶ丘医療センター	573-8511	大阪府枚方市星丘4-8-1	Tel.072-840-2641
兵庫	神戸中央病院	651-1145	兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1	Tel.078-594-2211
奈良	大和郡山病院	639-1013	奈良県大和郡山市朝日町1-62	Tel.0743-53-1111
島根	玉造病院	699-0293	島根県松江市玉湯町湯町1-2	Tel.0852-62-1560
香川	りつりん病院	760-0073	香川県高松市栗林町3-5-9	Tel.087-862-3171
愛媛	宇和島病院	798-0053	愛媛県宇和島市賀古町2-1-37	Tel.0895-22-5616
高知	高知西病院	780-8040	高知県高知市神田317-12	Tel.088-843-1501

九州地区

山口	下関医療センター	750-0061	山口県下関市上新地町3-3-8	Tel.083-231-5811
	徳山中央病院	745-8522	山口県周南市孝田町1-1	Tel.0834-28-4411
福岡	九州病院	806-8501	福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1	Tel.093-641-5111
	久留米総合病院	830-0013	福岡県久留米市柳原町21	Tel.0942-33-1211
	福岡ゆたか中央病院	822-0001	福岡県直方市大字感田523-5	Tel.0949-26-2311
佐賀	佐賀中部病院	849-8522	佐賀県佐賀市兵庫南3-8-1	Tel.0952-28-5311
長崎	松浦中央病院	859-4594	長崎県松浦市志佐町浦免856-1	Tel.0956-72-3300
	諫早総合病院	854-8501	長崎県諫早市永昌東町24-1	Tel.0957-22-1380
熊本	熊本総合病院	866-8660	熊本県八代市通町10-10	Tel.0965-32-7111
	人吉医療センター	868-8555	熊本県人吉市老神町35	Tel.0966-22-2191
	天草中央総合病院	863-0033	熊本県天草市東町101	Tel.0969-22-0011
大分	南海医療センター	876-0857	大分県佐伯市常盤西町7-8	Tel.0972-22-0547
	湯布院病院	879-5193	大分県由布市湯布院町川南252	Tel.0977-84-3171
宮崎	宮崎江南病院	880-8585	宮崎県宮崎市大坪西1-2-1	Tel.0985-51-7575

地区事務所

本部	〒108-8583	東京都港区高輪3-22-12 3F
北海道東北地区事務所	〒981-3281	宮城県仙台市泉区紫山2-1-1 仙台病院 3F
関東地区事務所	〒108-0074	東京都港区高輪3-22-12 1F
東海北陸地区事務所	〒457-0866	愛知県名古屋市中区三栄1-1-10 中京病院健康管理センター内
近畿四国地区事務所	〒553-0003	大阪府大阪市福島区福島4-2-78 大阪病院別館 3F
九州地区事務所	〒866-0862	熊本県八代市松江城町2-26 熊本総合病院健康管理センター棟 4F

